

# 12月11日（日）、千葉大生がプロ狂言師指導の下 創作狂言「里見八犬伝 其ノ零（エピソードゼロ）」を上演

～市民、千葉県文化振興財団、NPO法人と連携した新しい伝統文化への取組～

千葉大学は、12月11日（日）千葉文化会館にて、公益財団法人千葉県文化振興財団と連携して、創作狂言「里見八犬伝 其ノ零（エピソードゼロ）」を上演します。

## ■創作狂言「里見八犬伝 其ノ零（エピソードゼロ）」

今回の公演は、曲亭馬琴作「南総里見八犬伝」に挑みます。室町時代の房総半島を舞台に書かれたこの作品は、当時から大変な人気を博しました。主題となる「勸善懲悪」を問い直すかと思えば、巧みな言葉遣いやユーモアある動きで笑いを誘うという、見どころ満載の作品となっております。今回はシリーズ一作目として、玉が飛び散るまでを上演いたします。

なお、第一部に古典狂言「鐘の音（かねのね）」の上演も行われます。

【公演名】**創作狂言「里見八犬伝 其ノ零（エピソードゼロ）」**

【日時】**12月11日（日）14:00開演**

【場所】千葉県文化会館 小ホール

【料金】**全席自由2,000円、学生1,000円**

【運営】見る、知る、伝える千葉～創作狂言～運営委員会

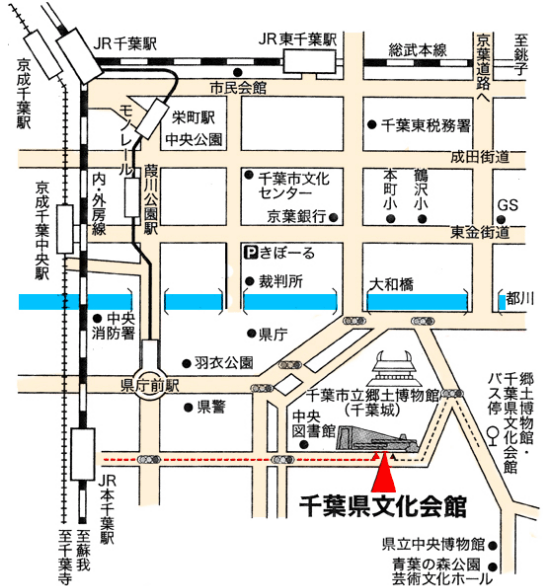
【プレイガイド】千葉県文化会館 043-222-0201

千葉県東総文化会館 0479-64-2001

インターネット予約 <http://www.cbs.or.jp/>



昨年の公演の様子



## ■普遍教育教養展開科目「伝統文化をつくる」の授業について

千葉大生は普遍教育教養展開科目「伝統文化をつくる」の授業の中で、これまで創ってきた狂言の舞台制作について学び、その伝統を受け継ぎながら台本作り・小道具作り、展示物作成、**狂言体験講座への参加**などを行っています。

授業では、学生たちは、**舞台・道具・展示・広報**の4つの班に分かれて活動を行っています。



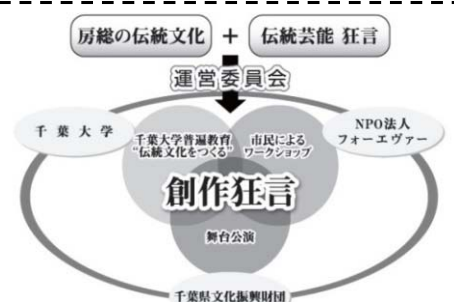
狂言体験講座



展示班

## ■「見る、知る、伝える千葉～創作狂言～」とは

房総に伝えられてきた、**民話や伝承**をもとに和泉流狂言師 **小笠原匡**（おがさわらただし）、**千葉大学及び市民**が新たに創り上げてきた狂言です。**千葉大学、NPO法人フォーエヴァー、公益財団法人千葉県文化振興財団**で**運営委員会**をつくり運営を行っています。これまでに「千葉笑い（千葉市）」「羽衣伝承（千葉市）」「鬼来迎（横芝光町）」「ヤマトタケル伝承（千葉県広域）」「八幡の藪知らず（市川市）」を題材に狂言を創作し、上演してきました。



取材のお申し込み・本件に関するお問い合わせ  
千葉大学国際教養学部普遍教育係  
TEL : 043-290-3613 メール : [dcf3613@office.chiba-u.jp](mailto:dcf3613@office.chiba-u.jp)

## 千葉大学（伝統文化をつくる）の授業について

授業では、学生たちは、舞台・道具・展示・広報の4つの班に分かれて活動を行っています。それぞれの班の活動内容を含む学生からのコメントを紹介します。

### ■ 舞台班

私たち舞台班は、練習やワークショップを通して本番の舞台を目指します。その特色は何と言っても県民の皆様と共に活動するという事です。毎年千葉大生と県民の皆様は小笠原先生の独創的なアイデアと向き合い、協力して舞台に立ちます。昨年は狂言の公演で、盆踊りを踊りました。今年はアクロバットを取り入れた動きを考えており、ぜひ様々な方に観ていただきたいと思っています。



### ■ 展示班

私たち展示班では、公演当日に会場で配布されるプログラムの作成と、ロビーに設ける展示パネルの文章作成、内容のレイアウトデザインを行っています。今回の公演について、そして、千葉と里見八犬伝のつながりについて、楽しく知っていただけるよう、一同頑張っていきます。また、当日は私たちが来場された方に直接、内容についての解説を行わせていただきたいと思っておりますので、お気軽にお声かけください。



### ■ 道具班

私たち道具班は、里見八犬伝の舞台で使う小道具や衣装の制作をしています。小笠原先生の助言をいただきながら、それぞれのデザインを一から考えました。風刺の要素を加えたりしながら細部にまでこだわって作っています。より多くの方に笑顔になっていただける舞台が完成するよう、班員一同気持ちをこめて仕上げていきたいと思っています。



### ■ 広報班

私たち広報班では、今回の公演を一人でも多くの方に観ていただこうと、様々な方面での広報を考えております。ポスターの掲示やチラシの配布に加え、特に若い世代をターゲットとした、SNS等を用いた広報を先生方にアドバイスを頂きつつ、学生主体で積極的に行っています。伝統文化を体感していただける今回の公演の魅力を存分に伝えることが出来るように、工夫して参ります。

# 創作 狂言 里見

## 第一部

レクチャー&

デモンストレーション

解説／小笠原匡

## 狂言「鐘の音」

出演／小笠原匡 野村万緑

## 第二部

## 創作狂言「里見八犬伝 其ノ零」

作・演出／小笠原匡

制作協力／千葉大学

出演／小笠原匡 野村万緑

加藤充華 神宮一樹

狂言体験講座参加者

青山郁彦

若菜の会

千葉大学学生

FANKENKO

千葉大学学生

# 犬

—「勸善懲惡」って何だ。—

# 伝

見る、知る、伝える千葉



# 鬼

平成28年12月11日(日)14:00 開演

千葉県文化会館 小ホール

※13時より座席引き換えを行います  
※未就学児の入場はご遠慮ください

全席自由 2,000円 学生 1,000円(税込)

インターネット予約 <http://www.cbs.or.jp/>

千葉県文化会館 043-222-0201 千葉県東総文化会館 0479-64-2001

主催 千葉県文化会館  
(公財)千葉県文化振興財団

後援 千葉県 千葉県教育委員会 千葉市教育委員会  
館山市教育委員会 南房総市教育委員会

運営 見る、知る、伝える千葉～創作狂言～運営委員会

助成 芸術文化振興基金

チラシデザイン: 千葉大学工学部2年 本間 透

# 其ノ零

エピソード

ゼロ



芸術文化振興基金

facebook

<p>第一 部</p>	<p>レクチャー&amp; デモンストレーション</p> <p>講師 小笠原 匡</p>	<p>狂言についての知識や演技方法を、実演を交えながら解りやすく説明します。狂言については、歴史、簡素な舞台の意味など、演技方法については、道行き（場面が変わるときに用いる）・擬音（効果音、動物の鳴き声などの表現）・小道具（扇の使い方）など、狂言の独特な約束事をお話しします。</p> <p>今回は特別に、会場の皆様と一緒に「笑い」や「泣き」など喜怒哀楽の表現を楽しく体験していただきます。</p>
<p>第二 部</p>	<p>狂言「鐘の音」</p> <p>シテ 太郎冠者 小笠原 匡 アド 主人 野村 万禄</p>	<p>息子の元服の祝いに黄金の太刀を贈ろうと、主人は太郎冠者に、鎌倉に行って「金の値」を聞いてくるようにと申しつけます。太郎冠者は、それを「鐘の音」と勘違いし、鎌倉の寺々をめぐり、「鐘の音」を聞き比べてきます。早速、主人に寺の「鐘の音」の特徴を報告しますが、主人は怒り出して…。</p>
<p>第一 部</p>	<p>創作狂言「里見八犬伝 其ノ零」 エピソード ゼロ</p> <p>小笠原 匡 野村万禄 青山郁彦 TAKAKO 加藤充華 神宮一樹 若菜の会 千葉大学学生 狂言体験講座受講者</p> <p>作・演出・語り部 小笠原 匡 制作協力 千葉大学</p>	<p>室町時代末、結城合戦に敗れた里見義実は、安房（千葉県南部）に落ちのびてきます。山下定包やその妻玉梓を成敗し、滝田城主となった義実ですが、隣国館山城の安西景連に攻め立てられ窮地に陥り、愛犬八房に「敵将景連の首を捕ってきたら娘の伏姫を嫁にやる。」と戯言をいいます。見事敵将の首を捕って戦いを勝利に導いた八房は、約束通り伏姫を連れ、富山の洞窟にこもり暮らすのですが…。</p> <p>原作は、江戸時代の後期、読本作家曲亭（滝沢）馬琴によって著された『南総里見八犬伝』です。98巻106冊にわたる大長編のため、創作狂言化するにあたりシリーズとし、本作はその第一弾として上演します。</p>



作・演出 <sup>おがさわら ただし</sup> 小笠原 匡 和泉流狂言師

1965年東京生まれ。初世野村萬（文化功労者・芸術院会員・芸団協会長・人間国宝）、故8世野村萬蔵、9世野村萬蔵に師事。すでに狂言の大曲である「奈須与市語」「三番叟」「釣狐」「金岡」「花子」を披く。また、新作狂言「鉢かづき」「新千葉笑い」「光源氏」等の作・演出を手がける。さらに、能・狂言・文楽・落語・講談・和太鼓という6つのジャンルのコラボレーションをめざした「風流」を主宰して、「刀こぶ」「良忍さん」「石川五右衛門」等を作・演出する。愛知万博開催記念特別公演「ふるさとの四季」や「平成版・阿国歌舞伎」作・演出・主演。

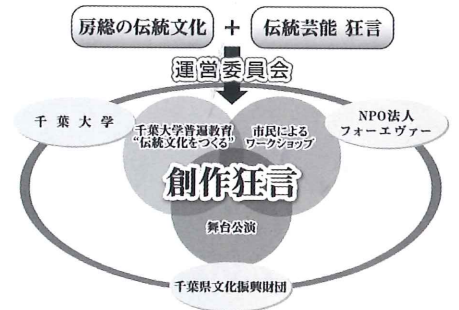
2005年はNHK大河ドラマ「義経」、2006年はNHK金曜時代劇「出雲の阿国」の芸能指導を担当した。2007年には「狂言と鼓童のコラボレーション・蓬萊貴譚」を作・演出する。2013年秋放送NHK朝の連続テレビ小説「ごちそうさん」でも所作指導を担当。2016年よりフランスにて定期的な日本伝統芸能普及活動を開始。現在、萬狂言関西支部代表、重要無形文化財総合指定保持者、(社)日本能楽会会員、(公社)能楽協会会員、千葉大学客員教授。ホームページ <http://www.atelier-oga.com/>

## 「見る、知る、伝える千葉～創作狂言～」プロジェクト

古くて新しい伝統文化への取り組み

房総に伝えられてきた民話や伝承をもとに、和泉流狂言師小笠原匡、千葉大学、千葉県文化振興財団、市民などで新たに創り上げてきた狂言の舞台です。千葉大学、NPO法人フォーエヴァー、千葉県文化振興財団で運営委員会をつくり運営を行っています。

これまでに「千葉笑い（千葉市）」「羽衣伝承（千葉市）」「鬼来迎（横芝光町）」「ヤマトタケル伝承（千葉県広域）」「八幡の藪知らず（市川市）」を題材に狂言を創作し、上演してきました。



### 千葉県文化会館交通案内

〒260-8661 千葉市中央区市場町11番2号  
TEL 043-222-0201 FAX 043-227-0763

【JR千葉駅より】

- ・京成バス⑦大学病院ゆき乗車約10分  
郷土博物館・千葉県文化会館下車徒歩約2分
- ・千葉都市モノレール乗車約6分  
県庁前駅下車徒歩約7分

【JR内房線・外房線 本千葉駅より】  
徒歩約10分

